

フランス人画家が描く『古事記』の世界

フランスの画家、マークエステル氏の『古事記』を題材とした展示会と解説を通じて、我が国最古の文献である『古事記』に親しみ、日本文化の原点を見つめてみよう。



暦作家 井上象英氏



画家 マークエステル・スキャルシャフィキ氏

ごあいさつ 神奈川大学 経済学部長 戸田 龍介

今回のヨーロッパ・フェスティバルは、一日限りの企画とはなりませんが、我が国最古の文献である『古事記』をテーマとした色彩豊かな絵画をライフワークとして描き続けているフランス人画家、マークエステル氏をお迎えして開催いたします。同氏作品の展示会と特別講演会を催すことの意義は、大変に大きいと考えます。百数十作に上る絵画は、日本全国の神社に奉納され、その文化的価値は既に高く評価されています。「色彩の魔術師」の異名を取るマークエステル氏の美しい絵画と、神道の専門家である井上象英氏の解説を手がかりとして、多くの若い学生諸君が、誇り高い伝統を保つ我が国の古典に親しんでもらうことを心から期待致します。



令和元年
2019. 10/28 月

申込 不要 参加 無料

プログラム 【産学研修共同プログラム】

展示会 : 10月28日(月) 10:00 ~ 17:00 3号館 1階

特別講演会 : 10月28日(月) 15:20 ~ 17:00 3号館 305教室

- 15:20~15:40 開会式
 司会 経済学部准教授 奥山 聡子
 挨拶 経済学部長 戸田 龍介
 国際センター長・副学長 的場 昭弘
 アンスティチュ・フランセ横浜館長 グザビエ・ペルソ
 みなと横浜改造市民会議 理事長 大久保 敏治
- 15:40~16:55 特別講演
 画家 マークエステル・スキャルシャフィキ
 暦作家 井上 象英
- 16:55 ~ 17:00 閉会式 経済学部国際交流推進委員長 小山 和伸

主催/神奈川大学経済学部 共催/神奈川大学経済学会、みなと横浜改造市民会議
 後援/フランス大使館、アンスティチュ・フランセ横浜